

# 小学校で自衛隊職業体験

新日本婦人の会沖縄県本部は10日、県庁を訪ね、教育現場で自衛

隊が「職業体験」を実施することを中止するよう求める半額満県教育長あての要請書を提出しました。

同日、県庁で会見した新婦人沖縄県本部によると、今年1月、名護市立の小学校で行われた職業体験に自衛隊が参加し、児童たちに迷彩服を着せたり、戦車やミサイルの発射訓練の映像を見せたりしたところです。

新婦人名護支部の井浦みつるさん(70)は、「なや自衛隊が学校の中に入り子どもたちに武器の映像を見せて活動紹介をするのか」といって不安や驚き、心配の声が寄せられていました。久手堅幸子会長は「自衛隊が軍隊として」となの責任だ」と述べています。

## 沖縄 新婦人が中止求める



「子どもたちを戦場に送らないで」と訴える新日本婦人の会沖縄県本部のメンバー=10日、沖縄県庁

戦争に向かう危険が高まってくるなかで、職業選択の一途として子どもたちに体験させるべき、教育現場での自衛隊の職業体験の即時中止を訴えました。要請書は、名護市教育委員会・教育長と名護市議会にも送付しました。今後は、全市町村の教育委員会・教育長あてに提出するとしています。